

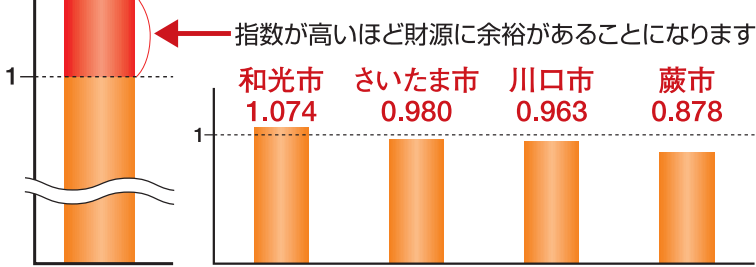
「豊かな財政は市民のくらしに生かせ」

日本共産党戸田市議団
2020年9月議会報告

2019年度の財政状況

・財政力指数1.236

埼玉県トップの財政力
埼玉県内の市平均0.870

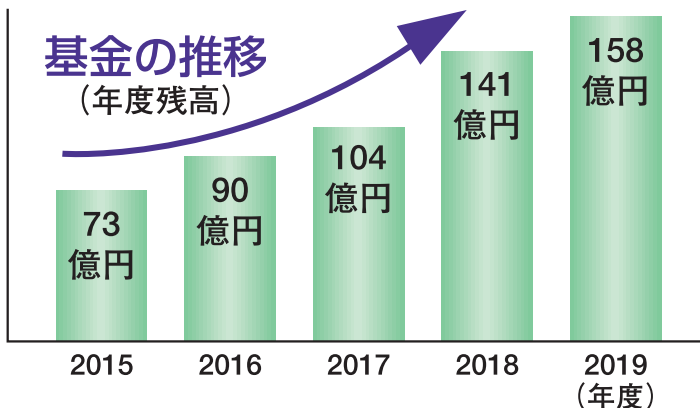


・34億円を20年度に繰り越す

昨年度の24億円より10億円も多く繰り越しています。

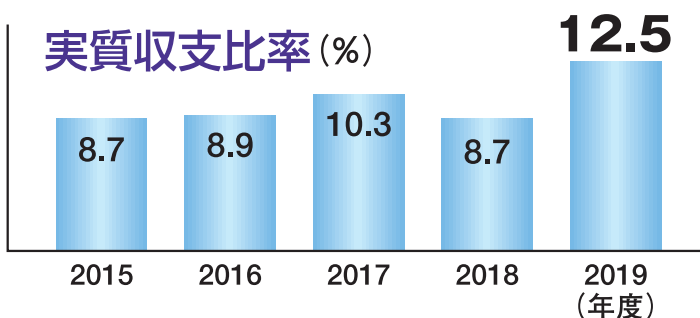
・18億円を積み立て。増える基金

戸田市は、将来のためと基金を増やしています。しかし、総務省が示す基準値からも貯めすぎと言わざるを得ません。コロナ禍だからこそ、積むことを前提にした計画を見直し、市民に生かすべきです。(2015年度～18年度まで10基金。19年度からは12基金の合計額)



・もっと様々な行政サービスに使える財源があった

良好な財政運営を行っているかを判断する実質収支比率が、戸田市は12.5%でした。財政運営上の適正数値は3～5%とされています。高い数値は「税金を使いきれていない」と指摘される数値で、戸田市に、もっと様々な行政サービスに使えるお金があったことを示すものです。



2019年度決算認定に反対

市は2019年度、基金積立てと繰越金を合わせて52億円ものお金を余らせました。こんなにお金があるなら笹目コンパルの使用料を値上げすることはなかったと考えます。日本共産党は、市民の税金はしっかりとくらしの隅々に生かすことを強く求め、決算認定に反対しました。

笹目コンパルの使用料金引き下げを

笹目コンパル多目的ホールの使用料は3年間で2.6倍もの値上げとなり、「使用料が高くなって使えない」との声が多数聞かれます。お金がある人もない人も誰もが平等に利用できることで、文化の醸成と地域コミュニティを図る役割をもつのが公共施設です。全ての市民に公平な使用料に戻すべきです。

日本共産党戸田市議団の一般質問



花井伸子



本田 哲



つちやえみこ



むとう葉子

●コロナ対策

Q PCR検査体制の抜本的強化と検査費用の助成を。

A 限られた予算を有効に配分する必要があり、今後の感染状況を見極め判断する。

Q コロナの影響により減収になった方への国保税減免の周知と対応を求めたが、その実績は。

A 令和2年8月20日現在、199世帯の申請があり76世帯の減免を決定した。

●国保税の県内統一への見解は

Q 国の求めに従い、県は令和8年まで繰り入れをなくし税の県内統一方針を出した。市の見解は。国庫補助の増額を求めるべき。

A 現時点で、令和8年までに赤字解消を図ることは難しい。機会を捉えて国へ意見を上げていく。

●第8期介護保険計画

Q 介護保険料の引き下げを。

A 保険料引き下げは厳しいが、低所得者に配慮する。

Q 市独自の生活援助サービスを。

A 市独自のサービス上乗せは難しい。軽度者には市の裁量で専門職の訪問型・通所型サービスを行っている。

Q 高齢者の居場所を作り、予防事業を。

A 民間の高齢者サロン等の予防支援を進めていく。

●市民負担を増やさない予算編成を

Q コロナ禍において、来年度の予算編成で市民への負担増やサービス削減等があってならない。来年度の予算編成の考えは。

A 財源確保のため現時点では、市民サービスを含めすべての既存事業を見直しの対象としている。

●白田の湯の存続を

Q 2020年を目途に施設廃止を含め、民間施設の代替利用等について検討とのことだが現状は。

A 市民、学識経験者などを委員とした再編方針検討委員会を設置し、4回程度開催し、意見を踏まえ市で決定する。

●高齢者のコロナ、熱中症対策

Q 重篤化を防ぐための対策と見守りの強化を。

A チラシなどで周知啓発に努めている。年間を通して民生委員が見守り訪問を実施している。

●第3子以降の学校給食半額補助の改善を

Q 学校や市役所でも申請を受け付け、所得制限はなくすべき。

A 郵送でも受け付けている。また所得制限は妥当。

